

4班

ひとりひとりが
地域ではぐくむ **“ジブンゴト”**
〇〇〇な子育て

令和4年度
子育て支援ワークショップ「これからの角田市の子育て支援について」

解決したい課題

- 地域に気軽に頼れる人、場所がない
- 子育てサポートしたいと思っている市民を応援したい
- 子育て支援はじめ、地域の課題を “ジブンゴト” に考えられていない
- 情報が必要なひとに伝わっていない
- 子育て現役の人たちは忙しくて自分から声を上げづらい
- 男性が子育てについて相談できる場所、人、機会がない



市民、住民による “ジブンゴト” 地域子育ての拠点づくり



●頼れる人、場所づくり

・小田自治センターで行われているような、地域で子育て支援をしたいと思っている人たちによる「放課後子ども教室」を各行政区（自治センター、集会所等）で展開

→自分で相談しに行くより、サポーターから声をかけてもらえるように

・宮城県でやってる子育てサポーター養成講座を活用して角田市民の人材育成。

地域全体で子どもを育てて、子育て支援を“ジブンゴト”に

「こんなことができるかな」を考えた！

お年寄りによる昔遊び教室、角田高校生が先生になってお菓子づくり教室、サッカー教室など（家庭部、サッカー部など）、パパたちによるDIY教室など

将来への不安について パパ・ママが話し合う場、機会

地域子育て拠点(自治センター)で子育ての先輩方から、
子育ての話をざっくばらんに聞く機会をつくる。

- 子どもの将来(ライフプラン)について、親とまなぶ機会を

例えば、習い事はいつから?どんな習い事?

高校はどう選ぼう?みんなはどんな進路で選んでる?

大学費用はいつから貯蓄して準備していたのかな?

角田市の子育て支援予算はどんなことに使われている?

- 子どもも一緒に参加できると◎

学校で教えてくれない、税金(所得税、固定資産税など)の話など

マネーリテラシー教育で角田市の子育て財源を“ジブンゴト”に



今、角田市だからできる 寄り添うまち



「子育ての困りごと、相談のオンライン化」

ポイント「1年間に100人しか子どもが生まれていない」

→少子化を強みに一人ひとり、寄り添った支援を可能に

(市職員による産前から中学校くらいまでの専属でサポート?)

※大規模都市にはできないことも角田市にできることはある

「知らないから参加できないはもったいない！」

地域に向けた情報発信

・ユーザーごとに選択できる情報掲載コンテンツを増やして

子育て世代向けのイベント情報・・・インスタグラム、ツイッター

おじいちゃんおばあちゃんも参加できるイベント・・・地域のお知らせ

地域で子育てをして良いこと

1. 地元にあ着が生まれる
2. 頼れるところが増える
3. ここで子育てをしたいと思う
4. 自分たちにできることを考えるようになる

ご清聴ありがとうございました。